

(4) 木が並んで植えられている場合もある

クヌギは苗木を植えていますので植えた跡が列状となっています。コナラは比較的自然的に更新するためランダムに生えていることも多いですが、場所によっては人工的に植えることもあります。

(5) コナラ、クヌギが多い

コナラ、クヌギといったブナ科の樹木は切り株から萌芽枝を出しやすく、したがって更新が容易です。また燃料用としてはぜない、立ち消えにならない、火力があるなどの点で他の樹木より優れていますので、雑木林に好んで使われます。ついで使われる木はイヌシデ、サクラ、エゴノキです。クリやネムノキ、ホオノキは欠点があってあまり燃料用としては評価されません。



人工的に列状に植えて作られたコナラの雑木林

(6) 林床植物が豊か

古くから落葉掻き、短い伐期、下草刈りが行われたため陽光植物が多く、多彩な雑木林特有の植物が生えていました。雑木林は多い林分では70種ほどの植物がみられます。

雑木林に特有な植物にはコウヤボウキ、コゴメウツギ、ガマズミ、ホソバヒカゲスゲ、キンラン、ササバギンラン、チゴユリ、クサボケ、シュンランなどがあります。その多くはススキ草原の植物と共通です。



切り株から萌芽するクヌギ



クサボケ



ササバギンラン